	X		分		正副委員長			氏					名											
			77		Ī	<u>E</u>	i	副				-4					<u>. </u>				_			
常	総			務	馬	場	斎	藤	花	井	手	塚	栗	原	伊	東					監査	委員	遠	藤
任	文	教	建	設	Ξ	浦	本	田	冨	岡	平	野	熊	木	神	谷	秋	元		,				
女員	健	康	福	祉	召	田	Щ	崎	酒	井	望	月	中往	生	石	井								
会	市	民	生	活	遠	藤	鈴	木	菅	原	岡	嵜	榎	本	細	井								
特	-	•=	*1	~~	石	井	細	井	鈴	木	冨	岡	平	野	酒	井	岡	嵜	花	井	榎	本	熊	木
別	交	通	対	策					斎	藤	本	田	中名	3生	伊	東	秋	元						
委員	議	会	改	革	神	谷	Щ	崎	召	田	菅	原	三	浦	馬	場	遠	藤	望	月	栗	原		
会	議会	会だ	より箱	扁集	召	田	花	井	富	岡	平	野	酒	井	遠	藤	神	谷	Щ	崎				
議	会 j	運 営	委 員	会	栗	原	Щ	崎	召	田	本	田	望	月	神	谷	秋	元						
—	競	艇組	 合 講	会	召	田	酒	井	岡	嵜	花	井	三	浦	馬	場	榎	本	熊	木	斎	藤	細	井
部事	(議	長石	井)		神	谷	石	井	伊	東	Щ	崎		_				_				_		
務組	衛生	センタ	マー組合	議会	鈴	木	冨	岡	平	野	馬	場	遠	藤	本	田	望	月	中名	生	栗	原	秋	元
合	(議」	長 中	名生)																					

会派変更のお知らせ

○高橋秀樹議員が辞職

3月10日付で高橋秀樹議員(民主・無所 属クラブ)が辞職しました。

[略歴]昭和56年2月に初当選以来、8期 29年余の長きにわたり議会及び市政に貢献 され、その間、文教経済、建設常任委員長、 まちづくり特別委員長、こどもの国再整備 等に係る複合施設特別委員長、蕨戸田衛生 センター組合議会議長などを歴任。

辞職に伴い現在の議員数は25人。

○会派の解散と新会派の結成

民主・無所属クラブが解散し、4月1日 付で民主党(冨岡節子議員)とフロンティ (馬場栄一郎議員) が結成されました。 議会内の会派構成は下記のとおり。

志政クラブ 6人 成 会 7人 党 5人 日本共産党 4人 主 党 1人 フロンティア 1人 所属 1人

進めていきたいけるというでは議会だよりど ていきたいと考えておりまするということでした。本市で 5 多摩市議会では

が随分変わったと評価を受けるり、市民の方から を絞り込み、必要性・ を絞り込み、必要性・ を絞り込み、必要性・ を絞り込み、必要性・ くる事業や予算が増 す。施政方針に出て いま 減した事業の中 本市でも、 評価をする事業

み込み、耐震性能物の最下層や中間物の最下層や中間 ※免震レトロフ

▲ 免震レトロフィットによる品川区総合庁舎の工事を視察

り、議会は全会一致で 事認いたしました。 建物の耐震化にはさまざまな工法があります。委員会では、昨年9月28日 に設置されて以来、 執行部の検討内容 投資効果、工事中 の使用勝手、経費 などについて調査 を重ねて結論を得 たものです。 と月2日に庁舎耐震 告が行われ、市庁舎耐 震化の方法は「免震レ 下ロフィット工法」が り、議会は全会一致で

に優れた建物を実現する工法。工事箇所が特 をされるため、建物を 使用しながらの工事が であり、工費も比 であり、工費も比 でがないなどの特徴 ことがないなどの特徴

口 フ イ ッソ 望 ま立 U

議会改革

特

別

委員

会

特庁 別舎 委耐 員震

会化

の等

最調 終査

報

告

議会に

よる事務

業評価を視察

高橋 秀樹 議員

市長の12年間の市政 運営は適切であったか

「戸田競艇の場外発売所の開設などに努力」

を記述している。 市のポテンシャルの高 市のポテンシャルの高 で転入す 市長 ①企業移転対策に取り組んできたが、に取り組んできたが、 考えられるが、単に順標の変更などの要因が

大きな損失があった。の減少により財政的にが誘致できず、配分金G競走(8大レース) きないことよりも、経済の不透明感やレジャーの多様化による公営競技全体の低迷の影響が大きい。売上向上のが大きい。売上向上のが大きい。売上向上のをめに、岡部に続き、るなど努力している。 **る部分を補う指標とし** ナイター発売が開催で ては活用していきた ノイターをでいるたい。

の事情があるにせよ、 業が相次いで移転して①12年の中で大手企 る。 経済情勢や企業 て、2年も連続してSったペナルティーとしの場外発売がされなかいて、ナイターレース

いて、ナイターレース3戸田競艇組合にお

-ピア双葉

がっている状況である。への投資が欠如し、住 れは財政的にも大きな政的負担は大きい。こ教室不足による市の財 を失うことにもなった。 損失であり、 ②将来を見据えた高 保育園対策など

一般質問

常任委員会では、「年間の活動テーマ」を定めて調査活動を行っています。 その1年間の成果が各委員長から報告されました。

詳しくは議会ホームページに掲載していますので、あわせてご覧ください。

委 員 会	年間テーマと活動内容	成 果
総務	1. 自治基本条例 2. 新地方公会計制度 3. 行政IT化による効率性と経済性	・国の制度創設・改正時におけるコンピュータシステム構築に関する意見書 ・地方公会計制度の意見書 ・自治基本条例制定の提言書 ・新地方公会計制度導入の提言書 ・行政 IT 化の提言書
文教・建設	1. 所管する小・中学校などの施設や区 画整理事業などの現地視察	・ネットいじめ根絶の決議と意見書
健康福祉	1. 医療保健福祉計画福祉の杜建設 計画及び医療保健センター等建て替 え計画	・市民医療センター等施設整備の意見書
市民生活	1. 低炭素社会と市民生活	・地球温暖化対策条例の審査に反映

傍聴者アンケート御協力ありがとうございました

平成22年3月定例会分

- 傍聴者アンケートは、本会議及び委員会を傍聴した方のうち、14名の方々から回答をいただきました。 詳しくは議会ホームページをご覧ください。
- ◇議会傍聴しての意見・感想は6件いただきました。貴重なご意見等は、今後の議会運営や議会だよりの編集
- の参考とさせていただきます。

19